

第18回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成18年3月

応募者名:札幌市 建設局 土木部

事業の名称:平和大橋・平和通整備事業

実施都市名:札幌市

事業の目的

都市計画道路3・4・38号平和通は、国道12号とJR函館線・千歳線の間位置し、国道12号の機能を補完し市内の東西交通に対応する幹線道路である。並行する国道12号や南郷通などの周辺道路の渋滞緩和を目的として整備を行った。

また、平和大橋は白石区菊水上町地区と中央区苗穂地区を結びつける橋であり、この平和大橋の開通により、都心へのアクセス性の向上、都心周辺開発への対応、菊水上町地区のまちづくり等への役割を担う。

事業概要 (1)

事業名：平和大橋・平和通整備事業

路線名：平和通

事業箇所：苗穂・丘珠通～南7条・米里通

事業延長：約940m

幅員：20m(4車線)～26m(4車線+右・左折専用車線)

総事業費：約74億円

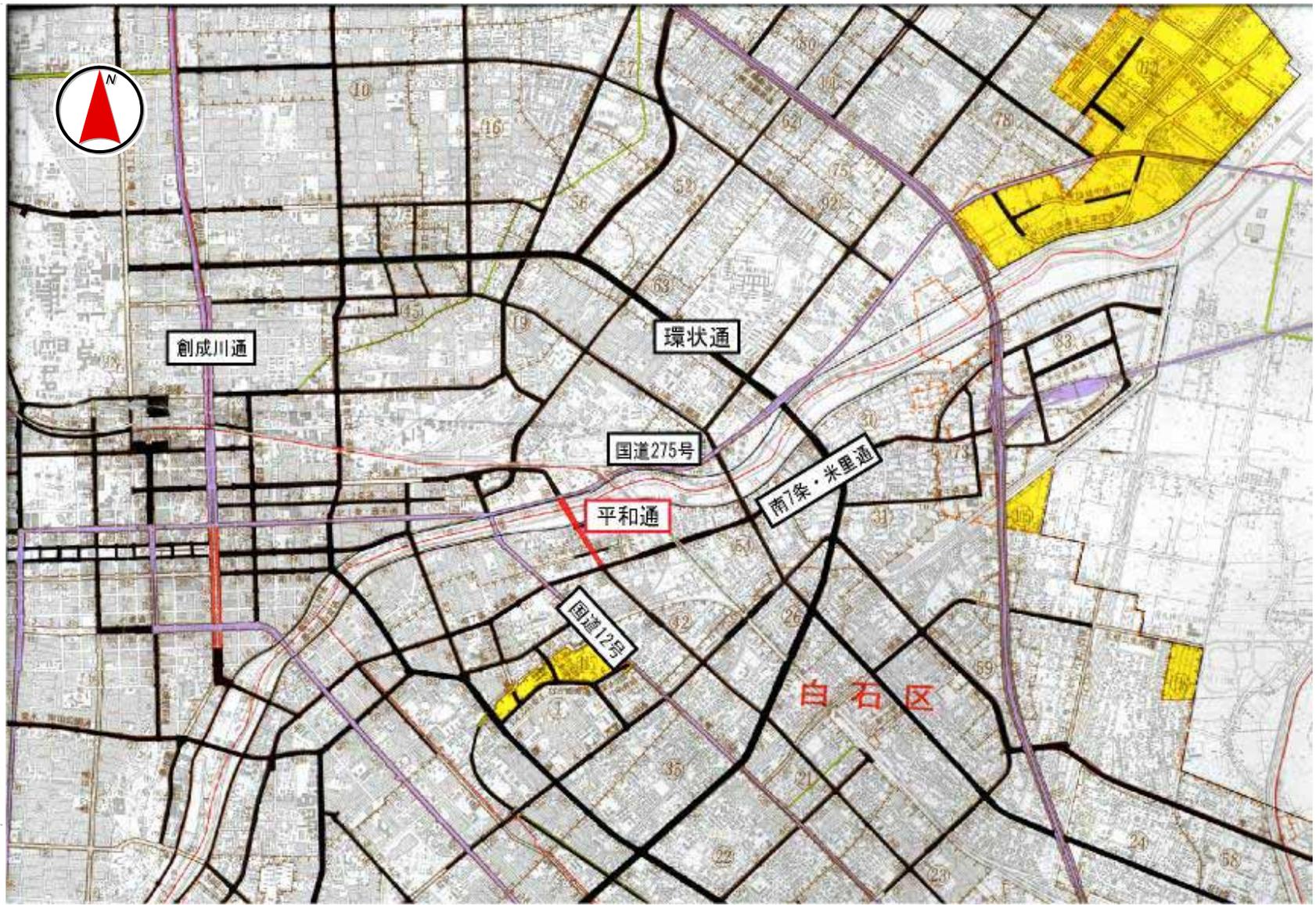
事業期間：平成8年～平成16年

事業概要 (2)

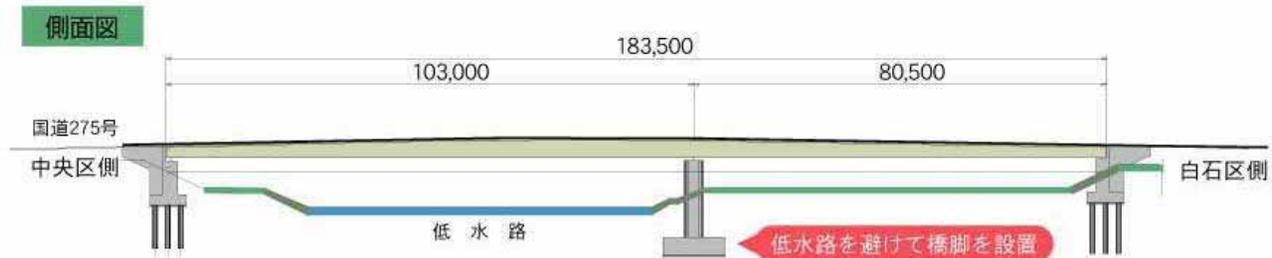
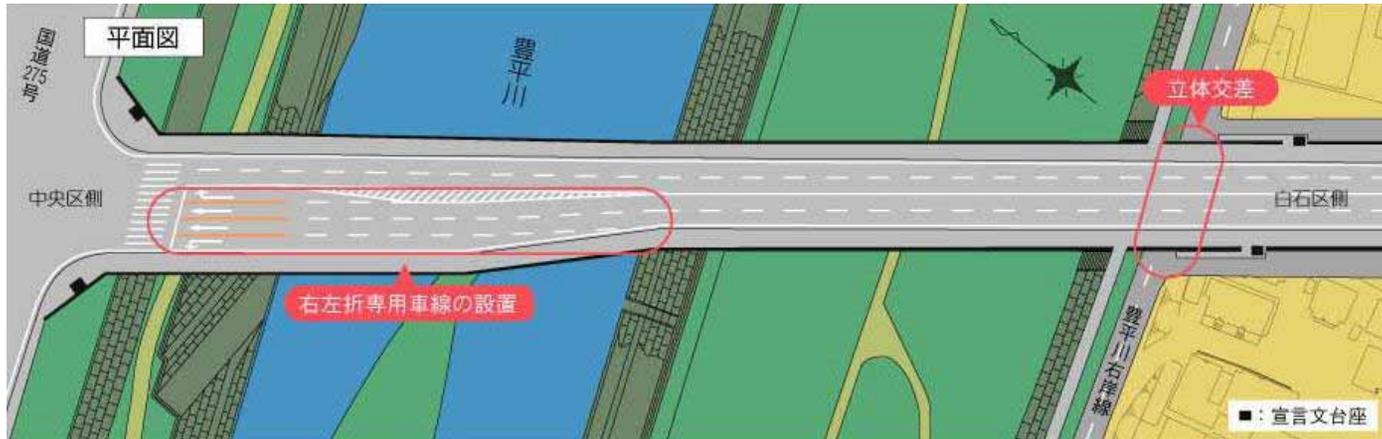
本事業は、橋梁部183.5m、道路部750mを整備したものである。橋梁部については、周囲の風景に溶け込むことを基本方針とし、橋の色彩、高欄、親柱、道路照明、橋脚の設計を行った。

白石区側の交差道路は、周辺宅地との高低差を小さくし、さらには平和通の交通に影響を受けることなく通行できるようにするため、道路を堤防上から下ろし平和通と立体交差させている。中央区側の国道275号との交差点には、直進・右左折車両の円滑な通行を確保するため、橋梁上に右左折専用の車線を設けた。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



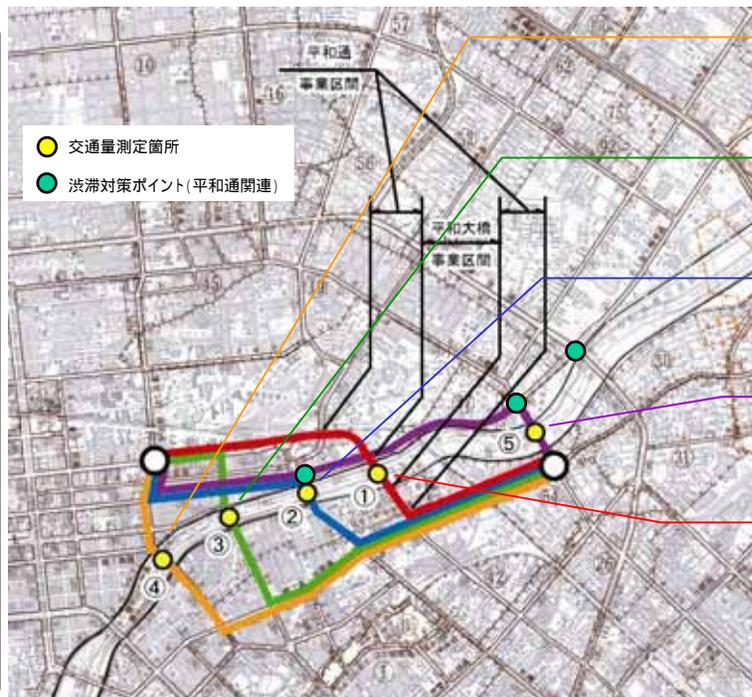
平成16年度完了事業アピール資料 ~ 平和通・平和大橋 ~

平和通は、国道12号とJR函館線・千歳線の間位置し、市内の東西交通に対応する幹線道路として計画された。

平和大橋は、豊平川に架かる橋梁部のボトルネックが原因となって発生している慢性的な交通混雑を解消するために、豊平川に架かる37番目の道路橋として架設された。

本整備により、市内中心部と白石区・厚別区方面の円滑な交通が確保され、平和通と交差する国道275号、南7条・米里通などの周辺道路では、交通混雑の緩和が図られている。

また、平和大橋の供用により、豊平川で分断されていた地域の連携機能や利便性の向上が図られるとともに、平和通の周辺地区では住環境の改善事業が進められている。



【リンク : 南1条通(一条大橋)】
 交通量: 28,687台/12h 24,580台/12h
 旅行速度: 17.6分 9.4分

【リンク : 南郷通(水穂大橋)】
 交通量: 20,477台/12h 17,240台/12h
 旅行速度: 20.5分 11.1分

【リンク : 札幌・江別通(国道12号)(東橋)】
 交通量: 38,103台/12h 24,580台/12h
 旅行速度: 19.8分 13.5分

【リンク : 北13条・北郷通(北13条大橋)】
 交通量: 20,652台/12h 18,285台/12h
 旅行速度: 14.2分 11.0分

【リンク : 平和通(平和大橋)】
 交通量: (新設橋・データなし) 10,477台/12h
 旅行速度: (新設橋・データなし) 8.1分

測定時期 整備前:H15.11 整備後:H16.10

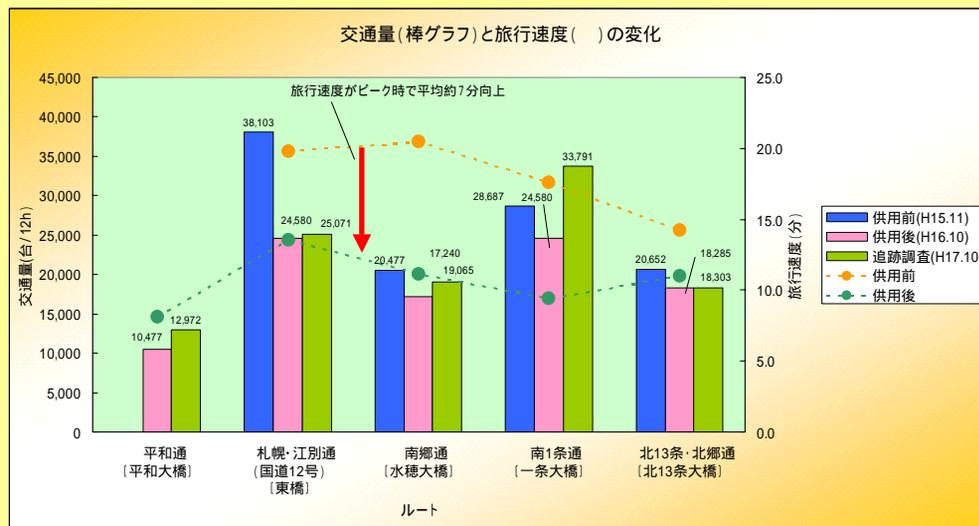
【事業の効果】

平和大橋周辺道路の
 交通混雑が緩和
 (関連渋滞対策ポイント: 3箇所)

平和大橋周辺道路の
 旅行速度の向上

歩行者の利便性が向上
 、地域交流の促進

周辺住環境の整備支援



東橋交差点(国道12号)の混雑状況(H13)



平和大橋・完成状況(H16.9)

事業前写真

平成10年6月撮影

施工前



事業前写真

平成10年6月撮影



事業後写真

平成16年9月撮影



事業後写真

平成16年9月撮影

